

#NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.42

発行日 2001年12月1日
発行者 NICE沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所地域づくり推進課国際交流室内
☎0559-34-2529

言葉の壁を越えて...

英語&日本語スピーチコンテスト-英語和日語講話比賽
THE ENGLISH & JAPANESE SPEECH CONTEST

主催/ 沼津国際交流協会



熱く!!

第10回英語&日本語スピーチコンテスト

日本人は英語で、外国人は日本語で、自由なテーマにより5分間のスピーチを行うという英語&日本語スピーチコンテストが10月14日(日)沼津市立図書館において行われました。

今年は英語の部・日本語の部ともに8人ずつの出場者により、日頃感じていること、自分の体験等、個性的なテーマで自らの思いを熱く語っていただきました。



▲ぬいぐるみを着て熱弁

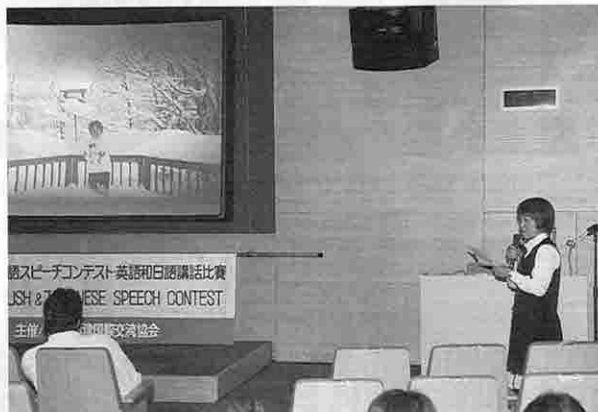
発音よりもその内容を重点に審査が行われ、それぞれの部3名の審査員により順位が決定します。毎年スピーチのレベルが高くなってきていることを感じていましたが、10年目を迎えます今年、特に審査員を悩ませるほどの出場者もすばらしく、その熱弁に会場からも熱い声援が飛んでいました。



▲審査にも、熱が入り…

またスピーチ終了後、昨年度カラマズー派遣留学生の吉川薫さん(沼津東高校2年)から写真を交えた留学報告がありました。

さて、コンテスト終了後はお楽しみの交流会です。今年はより交流をはかるという手段として、昨年までの自由席からくじ引きによる座席指定という方法を取ってみました。最初は知ら



▲留学報告をする吉川さん

ない人との相席にちょっと戸惑いはありませんでしたが、そこはさすがに国際的な出場者&スタッフ、すぐに打ち解けて英語&日本語入り乱れてのおしゃべりにあっという間に時間



▲スピーチ終了後のお楽しみ 交流会

は過ぎ、終了後も立ち話をして別れを惜しんでいる様子は印象的でした。

回を重ねるごとにレベルアップするスピーチコンテスト。

さあ来年はどんなスピーチが聞けるのか、今から楽しみです。

コンテスト結果 (敬称 略)

英語の部

優勝	吉川 薫	高校生
準優勝	張 綾佳	大学生
3位	沢野 真佐恵	会社員

日本語の部

優勝	サンティップ ポーチャンロン	留学生
準優勝	ラジェンドラ マヨラン	留学生
3位	カレン バーネット	英語教師

◆日本語の部、優勝スピーチ◆

国際理解教育部会

私たちの大切なものを……

このスピーチと共に出してみませんか？

『ドラえもん？』

サイティップ・ポーチャンロン

(沼津工業高等専門学校 留学生)

みなさん、こんにちは。今日はドラえもんについて話したいと思います。

ドラえもんは皆さんがご存知のとおりに生みの親、藤子F不二夫漫画家によってクリエイトされました。世界があこがれていたこんなかわいくてやさしいドラえもんは約30年の長きにわたってテレビやコミック本などで放映されたり読まれたりされています。

思い出すと、小学校2年生くらいから「ぼくドラえもん」というドラえもんがテレビで放送されたことで初めてドラえもんを知った私は、それから長いつきあいが始まりました。そしてかわいくてやさしいドラえもんは私の幼年時代からのベストフレンドになりました。

のび太くんやジャイアンくんやスネ夫くんなどの少年たちの冒険や夢や日常生活などの悩みを解決してくれた2112年の9月の3日に生まれたドラえもんくんは本当に机から出てくるのならばいいなと思いました。だから私は母に「私もドラちゃんがほしい」と言いました。すると母は「あなたにもドラえもんのように素晴らしいポケットがあるでしょう？」と言いました。だが、「あれ？自分のポケット突っ込んでみても何も入ってないじゃん」と思って、母の本当の意味がよくわかりませんでした。

そこで私は「さよならドラえもん」という感動的なシーンを見ました。いつもドラえもんを頼っていたのび太くんは「これからドラちゃんの助けをうけない」と言ってドラえもんを未来の世界に帰らせようとしてしました。だけどドラえもんはのび太くんのことをあまりにも心配していたのでそれを断った。そしてのび太くんは「僕だってひとりだけでいけるぞ」と言わんばかりにドラえもんの頼りにはなりません。するとドラえもんは未来の世界へ戻っていったのです。

それをきっかけとして母の言ったことがわかってきました。それは例えば試験がよくできなかったり、失恋したり、失業したりする時の「ハード タイムス」という時期には助けとなる魔

法使いのドラえもんを「ドラえもん、ドラえもん、助けて」と言うよりも自分で解決しなくてはならないのです。みなさんは自分のポケットに突っ込んでみてください。どうしてかと言うと、みなさんはドラえもんのようにポケットの中に素晴らしい道具を持っているからです。それを出してみてください。それらはブレンとか勇氣などの素晴らしい道具なのです。

そしてドラえもんに頼らずに日本へ来る夢が実現しました。それに日本での生活がつかつたり、高専での授業がよくわからなかったり、食堂の料理が口に合わなかったりする時にはドラえもんのポケットからじゃなくて自分のポケットから「努力」とか、「我慢」とかという素晴らしい道具を出してみたのです。

みなさんも、出してみてください。出してみたら「何も入ってないじゃん」という方もいるかもしれませんがもう一度出してみてください。今現在のテロという国際的な問題に対してもみなさんのポケットから「平和交渉」を出せば何とかかなると思いませんか？みなさん、ご清聴ありがとうございました。



カラマズー部会

1年間どうぞよろしく!

9月17日(月)沼津キャッスルで、姉妹都市カラマズーから来られたバネッサさんの歓迎パーティーが行われました。この歓迎会に28名の参加があり、たいへん盛り上がりました。まず初めに小林国際交流協会会長より、バネッサさんにむけて歓迎のあいさつがあり、続いてアメリカでのテロ事件により被害を受けた方に哀悼の意をこめて、参加者全員で黙祷をしました。そしてバネッサさんより自己紹介があり、食事をしながら皆で楽しく会話しました。参加者の中にはバネッサさんに積極的に質問する姿もみえました。彼女は英語招聘教師として沼津市の公立小中学校で9月から教鞭をとられていて、だいたい2ヶ月ごと公立中学校をまわります。任期は1年間ですが、最初に勤務した大岡中でも、現在の長井崎中でも生徒に人気があり、楽しく英語を教えています。



▲市内中学校で英語を教えるバネッサさん

バネッサさんの自己紹介です。

Konnichiwa! My name is Vanessa Millican. Please call me Vanessa. I am 24 years old and just recently graduated from Western Michigan University in Kalamazoo, Michigan, Numazu's Sister City. I have only been in Japan since August 28. I was met at the airport by Ms. Mochizuki and Miwako Murakami. Their smiling faces made me feel better, as I was starting to feel very homesick and some culture shock. To be honest, even though I had wonderful hosts for my first few days in Japan, Mr. and Mrs. Nakamura, I really did miss home very much. Then the first day of school came, and I was very excited. The students and teachers at Ooka Junior High School have made me feel more at home everyday. They make me feel good about getting up in the morning and make me want to stay at school even when it is time to go home at the end of the day. I hope that I have that same feeling with all of the schools that I will be visiting over the next year. I have also made wonderful friends in Japan. I met my first friend, John who is from England, when Mr. Nakamura took us for a climb up Fuji-san just two days after I arrived in Japan. John introduced me to several more people who are now more like my family away from home. Dale is from Australia and Emiko and Naomi are from Japan. Dale and John are English teachers in Mishima. I feel very fortunate to have been asked by Numazu and Kalamazoo to teach English for Numazu students. I hope that I make all of you very proud over the next year. Although I must say, that I think I am the real student in this adventure and the students are the teachers. Thank you very much for making me feel welcome in your city and in your country. Well, I hope that is a good introduction for you to write your article. Please let me know if you need anything else or even if you just want to talk. Hope you are having a good day.

Vanessa

中国文化理解教室あれこれ

中国語講座

7月4日～9月11日（全10回）

河合穎（カワイ エイ）先生のもと初めて習うクラス（25名）、熊谷虹（クマガイ ニジ）先生のもと少し学習経験のあるクラス（25名）が炎暑の7月から9月初秋まで熱心に受講しました。毎回受講希望者が殺到する講座で、今年も受付開始当日には40名を超える申し込みがありました。

受講者のアンケートから……

- 生の中国語が聞けてよかった。
- 新しい世界が広がった。
- 忘れかけていた中国語にふれることができた。
- 期間が短すぎる。
- 来年も受講したい。

などなど……向学心にあふれる答えが返ってきました。



太極拳教室

（11/5・11/12・11/19・11/26）

静岡県中国武術協会より桐山千尋先生をお迎えし、太極拳の入門編（8式太極拳）を4回コ



ースで学びました。こちらにも女性に大人気で30名の定員は受付開始30分足らずでいっぱいになりました。普段あまり運動をしない方々には準備運動の段階で体のあちらこちらが痛くなっているようでしたが、先生のような優雅な演舞を夢見て筋肉痛も我慢でした。ご夫婦、子供と一緒に、家族での参加など、老若男女とわず、秋の夜長楽しくリフレッシュしました。

中国料理教室（第一地区センター）

第1回 9/23(日) 講師：今保リメイさん
台湾風パスタ 二色野菜と貝柱のあんかけ
椎茸と肉のスープ



第2回 10/28(日) 講師：游 碧瑜さん
甘酢ロールキャベツ 牡蠣の豆豉炒め 胡麻団子



第3回 11/25(日) 講師：藤沢 昭光さん
フカヒレスープ クラゲと野菜の旨煮 冬瓜と豚肉の旨煮



成功させよう！ 10周年記念事業 「世界への架け橋in沼津」

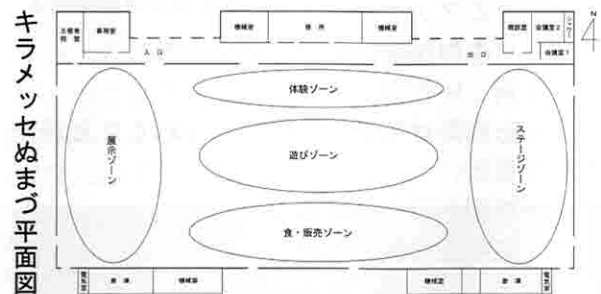
—輝く未来へNICE街2002—

平成14年2月17日(日)に「キラメッセぬまづ」を全面使用して開催します沼津国際交流協会設立10周年記念事業が表記の通りメインタイトルを「世界への架け橋in沼津」、そしてサブタイトルが一輝く未来へNICE街2002と決定され、当日まで残すところわずか2ヶ月半となりました。

実行委員会も7回を数え、当日のイメージも具体化してきました。現在会場を6つのゾーン◆展示◆食◆販売◆ステージ◆体験◆遊び、に分け、それぞれに検討を重ねています。展示のゾーンでは各部会の展示はもとより、各団体や青少年のブースも予定しています。食のゾーンでは、十数カ国の料理を楽しんでください(試食程度ですが無料)。そして販売のゾーンでは業者の方々による食べ物、飲み物(有料)の他、試食しました料理の材料等の販売も企画しています。つづいてステージのゾーンでは、中国の獅子舞や武術、各国の舞踊が所狭しと演じられ、役に立つ講演や講座と休む間がないことでしょう。体験のゾーンでは、着物の着付け、お琴、お茶、お花などの他、蕎麦うちやクラフトコーナー、書道、ドリームキャッチャー、そして簡単な英会話・中国語会話なども体験できます。最後の遊びのゾーンでは、子供から大人まで楽しめる遊びやゲームを企画しています。以上簡単に各ゾーンの紹介をしてみました。

11月27日の実行委員会からは協力していただける方や業者の方々と交えて合同会議を開催しています。来場したみんなが楽しい一日を過ごせるような、そして“きてよかった”と言えるような記念事業にできればと思います。

会場の基本的なレイアウトは、下図の通りです。



準備：2月16日(土) 13:00～

開催：2月17日(日) 10:00～16:00

5,000人以上の入場者数を目標としています。会員の皆様には、準備から当日の運営、そして動員のご協力をお願いします。

以前、10周年記念事業特別協賛金のお願いを会員の皆様へ送付させていただきました。まだまだ受け付けています。ご協力の程、宜しくお願いします。

1口 1,000円

(できれば2口以上お願いします)

友好都市中国岳陽市への留学生を募集します！

期 間：平成14年3月末から
半年 1年 1年以上

留 学 先：中国湖南省岳陽市 岳陽師範学院

科 目：必修 中国語(共通語)
選択 中国画 中国武術

資 格：高校卒業以上
沼津市在住あるいは在勤の健康な方
(平成14年3月高校卒業見込み者も可)

費 用：自 費

募集期間：平成14年2月1日(金)
～2月28日(木)

面 接：平成14年3月上旬

問い合わせ&申し込みは
NICE事務局へ
(地域づくり推進課国際交流室)
Tel 0559-34-2529